

令和6年度

上向台小学校

地域とともにある学校づくり

1年生

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名： きせつとなかよし あき 「～あきのおもちゃをつくろう～」
(活動名)

ねらい： 秋の自然を諸感覚を使って観察したり、自然物を使って遊んだりする活動を通して、秋の特徴や他の季節との違いを見付けることやそれらを使って遊ぶ方法を考えたり、遊びを楽しく工夫したりすることができ、自然や生活の様子の変化、自然の面白さや不思議さ、野原や公園のルールやマナーを守って遊ぶことなどについて気付き、季節を取り入れて遊びや生活を楽しく創り出すことができるようにする。



【10月29日】

小金井公園の樹木の会の皆さんに「秋探しツアー」に連れて行ってもらいました。樹木の会の皆さんに様々な木の実を紹介してもらったり、木の実を使った遊びを紹介してもらったりして、小金井公園の「秋」を五感で味わうことができました。

集めた木の実や葉っぱは、自分の宝箱に入れ、学校に帰ってからも楽しそうに観察したり、遊んだりしていました。

【10月下旬～11月中旬】

自分の宝箱の中にある「お宝」を使って、おもちゃ作りをしました。どんぐりコマややじろべえ、タイサンボクの実のネックレスなど、一人一人が創意工夫を凝らして活動しました。作ったおもちゃで、おもちゃ屋さん遊びも行いました。どのクラスも楽しいおもちゃでいっぱい、他クラスの友達とも仲良く学習することができました。



まとめコラム

今年度は、小金井公園の「樹木の会」の皆様との出会いをきっかけとして学習を進めました。遠足や生活科の虫探しで何度も行ったことのある小金井公園。その公園に、まだまだ知らないことがあることに気付いたり、そこで見つけたものを使って自分たちでおもちゃ作りをしたりすることを通して、地域の良さに気付き、その良さを生かしていける子どもたちに育ってくださることを願っています。来年度からも、自分たちの地域にある良さを見付けたり、新しい発見を楽しんだりすることのできる児童の育成を図っていきます。